

令和元年度公益財団法人やまなし文化学習協会事業報告書

I 事業

1 概要

本協会は、県並びに関係機関などとの緊密な連携のもと、県民の自発的な生涯学習、芸術文化活動を助長・支援するとともに、男女共同参画社会づくりを推進し、地域文化の振興と地域社会の活性化を担う人材の育成を目的としている。

こうした目的を達成するため、山梨県及び甲斐市から指定管理者として指定を受けている山梨県立男女共同参画推進センター（ぴゅあ総合、ぴゅあ峡南、ぴゅあ富士）と甲斐市双葉ふれあい文化館の施設の管理運営や普及啓発事業等を行うとともに、山梨県から受託している山梨県生涯学習推進センター、山梨ことぶき勸学院、「森の教室」等普及啓発ゾーン及び山梨近代人物館の施設の管理運営や事業を積極的に展開し、これらの施設の利用促進にも努めた。

なお、年度の終わりにおいて、新型コロナウイルス感染拡大の防止を図るため、各施設の利用制限や事業の延期・中止などの措置を講じたことにより、施設の利用者数の減や、事業の不執行等による剰余金の拡大などの影響が生じた。

2 事業実施状況

(1) 芸術文化の推進及び振興事業（公益目的事業1）

甲斐市双葉ふれあい文化館管理運営事業

指定管理者として、甲斐市双葉ふれあい文化館の管理に関する基本協定に沿って、ホールや会議室、視聴覚室等の貸し出しをはじめ、施設の適正な管理運営を行うとともに、甲斐市と連携して芸術文化振興事業を行った。

- ・年間の総利用者数は 39,502 人（前年度 42,534 人）
- ・うちホールの利用者数は 28,534 人（前年度 30,482 人）

① 芸術文化鑑賞事業

音楽、古典芸能、親子向けコンサートなど、バランスの良い芸術鑑賞事業を企画・実施した。

- ・実施時期：令和元年6月～令和元年11月
- ・演目：「真夏の夜の怪談話」「自衛隊音楽隊演奏会」「悪魔の森の音楽会」
「ラジオ深夜便のつどい in 甲斐市」「ケロボンズ ファミリーコンサート」
「ロビーコンサート」
- ・公演数：6公演
- ・入場者数：2,482人

② 市民参加型事業

市民参加型の「表現力ワークショップ」、「楽器制作と発表」、「ピアノワークショップ」、「ピアノオンステージ」、「KAI ふれあいステージ」、「甲斐市ふれあい新春カラオケ大会」、「甲斐市小中学校音楽祭」等の企画を実施した。

- ・実施時期：令和元年8月～令和2年2月
- ・開催数：21回
- ・入場者および参加者数：2,613人

③ 文化情報発信事業

文化館事業の周知を図るために、主催事業の情報をホームページや FaceBook、地域のミニコミ情報誌等を使い逐次発信した。

④ その他

ホールの事業を手伝うボランティアを募集し、活動の中から舞台芸術への理解を深めてもらう機会とした。

(2) 生涯学習の推進及び振興事業（公益目的事業2）

山梨県生涯学習推進センター業務受託事業

県民の生涯学習を総合的に支援する中核施設として、県民の自主的な学習活動を支援し促進した。

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">・施設利用者数は 26,793 人（前年度 31,195 人）・講座受講者数は 9,205 人（前年度 11,151 人） |
|--|

① 情報の提供・相談事業

- ・学習機会や指導者、サークル等、生涯学習に関する様々な情報を収集し、情報誌「生涯学習やまなし」や、センターホームページ、FaceBook などインターネットを活用して発信した。
- ・生涯学習を目的としたグループ・団体・個人への交流室の貸付等を行うとともに、県民が学習を進める上での様々な相談にきめ細やかに応じた。
- ・山梨学講座実施後、もう一度聴講したいとの県民の声にこたえるため、「ビデオセミナー」を開催した。 講座数：3講座 参加者数：135人

② 調査・研究事業

今後の生涯学習事業に反映するため、センター講座の受講生を対象としたアンケート調査資料などを基に、生涯学習に関する県民の意識や要望など様々な事項に関する研究を行った。

③ まなびネット・キャンパスネットやまなし事業

センターホームページと連携して、「まなびネット」「キャンパスネットやまなし」の円滑な運営とさらなる活用を図った。

④ 賑わい・交流促進事業

勤め帰りの社会人及び子育て層や親子も参加可能な時間帯において、多様な学び合いを追究したいと望む方々を対象に学びの機会や交流の場を提供するため、「まなび交流倶楽部」「生涯楽習講座」を開催した。

- ・講座数：17 講座
- ・参加者数：790 人

⑤ やまなしの愛デンティティ形成事業

山梨の文化・歴史・自然・県民性・地場産業などの講座を通して山梨の素晴らしさを再発見し、山梨県民としての自覚と誇りを持つことにより郷土愛を育むための「山梨学講座」を開催した。

- ・講座数：9 講座
- ・参加者数：1,462 人

⑥ 生涯学習支援事業

「現代的課題講座」「市民自主企画講座」「職業体験講座」「U-21 チャレンジ講座」「まなびウィーク」を開催し、多様な学習ニーズに応える講座を提供するとともに、自らの学習成果を発表したいと望む青少年をふくむ多くの県民を支援するため、成果発表と交流の場を提供した。

- ・講座数：179 講座
- ・参加者数：3,738 人

⑦ 普及啓発事業

県民の日イベント会場、大型商業施設などにおいて、生涯学習の普及啓発を図る活動などを行った。あわせて高齢者の生涯学習への意欲を喚起するため県及び市町村老人クラブ連合会への「生涯学習出張講座」を開催した。

- ・実施時期：平成 31 年 4 月～令和元年 11 月
- ・場所：小瀬スポーツ公園 など
- ・講座数：2 事業、4 講座
- ・参加者数：2,474 人

⑧ 生涯学習活躍促進事業

生涯学習指導者や将来、指導者を目指す学習者を対象に、地域の生涯学習における中心的指導者として活躍できるよう、「生涯学習セミナー」を開催した。また、生涯現役で活躍できる社会を創出するための「学習成果活用講座」を開催し、学習成果を活かす活躍の場を提供した。

- ・実施時期：令和元年 6 月～11 月
- ・講座数：4 講座
- ・参加者数：171 人

⑨ サテライトスクール事業

県民の学習機会の充実を図るため、センターで開催する講座を、Web 会議システムを活用して県内の県合同庁舎などに配信する遠隔学習講座を開催した。

- ・場所：県合同庁舎 など
- ・講座数：6 講座
- ・参加者数：435 人

(3) 男女共同参画の推進及び振興事業（公益目的事業3）

山梨県立男女共同参画推進センター管理運営事業

指定管理者として、ぴゅあ総合、ぴゅあ峡南、ぴゅあ富士の各施設の研修室、調理実習室、視聴覚・音楽室・レクレーション室等の貸し出しをはじめ、施設の適正な管理運営を行うとともに、男女共同参画を推進するための各種事業を行った。

- ・3館施設利用人数は141,801人（前年度151,998人）
- ・3館事業利用者数は33,534人（前年度36,713人）

① 男女共同参画推進事業

(ぴゅあ総合)

(ア) 調査・研究事業

県内において、自治会などの地域活動の運営や地域おこし、地域の課題解決を図るために、女性が積極的に参加して行う実践的な活動事例について調査を行い、その結果を県民に提供した。

- ・事業名：「地域で輝く女性れぽーと」
- ・実施時期：平成29年4月～継続中
- ・調査対象：地域おこしや、地域の課題解決に向けた実践活動などを行い、男女共同参画による自主的な地域づくりを積極的に行っている女性。
- ・情報提供：県内において地域おこしや、地域に根ざした実践活動など、男女共同参画による自主的な地域づくりを積極的に行っている女性にインタビューを行い、情報誌「ぴゅあ」に掲載するとともに、協会ホームページでも閲覧可能として広く県民に情報提供した。

(イ) 情報収集・提供事業

男女共同参画社会の理念やジェンダーの視点の定義、男女共同参画に関する施策の実施状況など、男女共同参画に関する資料や情報を収集し、ロビーや情報資料室、ホームページ、FaceBook、情報誌など、様々な機会や媒体を活用して情報を提供した。

- ・展示回数：推進月間展示「カジダンイクメン写真展」「市町村男女共同参画推進委員会・女性団体活動展示」など9事業
- ・参加者数：4,069人

(ウ) 普及・啓発事業

県民ニーズや社会状況の変化に対応したテーマを取り上げ、講演、ワークショップ、シンポジウム、パネルディスカッション、出前講座など事業主旨にあった効果的な形式により、男女共同参画普及・啓発事業を開催した。

- ・講座数：「男女共同参画ネットワークセミナー基礎講座」「男女共同参画推進月間記念講演会」「女性管理職養成セミナー」「出前講座」など 98 講座
- ・参加者数：5,227 人

(エ) 交流促進事業

地域において男女共同参画の視点から様々な活動を行っている市町村、関係機関、団体などの交流促進とネットワークづくりを支援するための事業を開催した。

- ・講座数：「ぴゅあ総合フェスタ 2019」、「市民企画講座」など 12 講座
- ・参加者数：6,870 人

(オ) 相談対応事業

○地域活動相談事業

男女共同参画に関する活動や学習機会について、市町村や活動団体などからの相談に応じた。 相談件数：109 件

○女性総合相談

日常生活から生じる一般的な問題、悩みに対して、相談員が電話及び面接により相談に応じた。 相談件数：301 件

○配偶者からの暴力に関する相談

配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護などを図るため、「配偶者暴力相談支援センター」として相談業務を行った。 相談件数：317 件

○弁護士による法律相談

毎月 1 回、20 件

(カ) 人材発掘・育成事業 (再掲)

地域社会の様々な分野において方針決定過程に参画できる女性を育成することを目的として、地域で活躍する女性たちをロールモデルに迎えシンポジウムを開催した。

- ・実施時期：令和 2 年 2 月
- ・講座数：チャレンジシンポジウム 1 講座
- ・参加者数：43 人

(キ) 地域における実践活動支援事業 (再掲)

地域の課題解決のための実践活動に対して、出前講座などによる支援を行った。

- ・実施時期：令和元年 12 月、令和 2 年 2 月
- ・場所：甲斐駒センターせせらぎほか 2 ヶ所
- ・講座数：2 講座
- ・参加者数：197 人

(びゅあ峽南)

(ア) 調査・研究事業

びゅあ総合と同様の事業を行った。

(イ) 情報収集・提供事業

びゅあ総合と同様の事業を行った。

- ・展示回数：推進月間展示「カジダンイクメン写真展」「市町村男女共同参画推進委員会・女性団体活動展示」「DV防止啓発展示」など9回

- ・参加者数：1,276人

(ウ) 普及啓発事業

びゅあ総合と同様の事業を行った。

- ・講座数：「男女共同参画推進月間記念講演会」「DV防止啓発講演会」「出前講座」など66講座

- ・参加者数：2,600人

(エ) 交流促進事業

びゅあ総合と同様の事業を行った。

- ・講座数：「びゅあ峽南フェスティバル2019」「市民企画講座」など10講座

- ・参加者数：482人

(オ) 相談対応事業

○地域活動相談事業

男女共同参画に関する活動や学習機会について、市町村や活動団体などからの相談に応じた。相談件数：36件

(カ) 人材発掘・育成事業

びゅあ総合との合同開催。参加者数：43人

(キ) 地域における実践活動支援事業（再掲）

地地域の課題解決のための実践活動に対して、出前講座などによる支援を行った。

- ・実施時期：令和元年11月

- ・場所：市川三郷町役場本庁舎

- ・講座数：「地域の希望をつなぐワーク・ライフ・バランス」1講座

- ・参加者数：45人

(びゅあ富士)

(ア) 調査・研究事業

びゅあ総合と同様の事業を行った。

(イ) 情報収集・提供事業

びゅあ総合と同様の事業を行った。

- ・展示回数：推進月間展示「カジダンイクメン写真展、市町村男女共同参画推進委員会・女性団体活動展示」など10回

- ・参加者数：5,918人

(㉞) 普及・啓発事業

びゅあ総合と同様の事業を行った。

- ・講座数：「男女共同参画推進月間記念講演会」、「女性の活躍支援講座」など 64 講座
- ・参加者数：1,899 人

(㉟) 交流促進事業

びゅあ総合と同様の事業を行った。

- ・講座数：「びゅあ富士フェスティバル 2019」、「市民企画講座」など 11 講座
- ・参加者数：4,420 人

(㊱) 相談対応事業

○地域活動相談事業

男女共同参画に関する活動や学習機会について、市町村や活動団体などからの相談に応じた。相談件数：35 件

○男性総合相談

男性の総合相談として、臨床心理士の資格を持つ男性相談員が電話相談（月 1 回）に応じた。相談件数：31 件

(㊲) 人材発掘・育成事業

びゅあ総合と同様の事業。新型コロナウイルスの影響により中止。

(㊳) 地域における実践活動支援事業（再掲）

びゅあ総合と同様の事業。新型コロナウイルスの影響により中止。

② 自主企画事業

多くの幅広い年齢層に気軽に足を運んでもらうことにより、男女共同参画への理解を深めるきっかけとすることを目的に自主企画事業を開催した。

(びゅあ総合)

- ・講座数：「クリスマスケーキ」など 10 講座
- ・参加者数：454 人

(びゅあ城南)

- ・講座数：「一閑張りを楽しもう！～素敵なインテリアボード～」など 7 講座
- ・参加者数：186 人

(びゅあ富士)

- ・講座数：「オカリナアンサンブルミニコンサート」など 9 講座
- ・参加者数：191 人

(4) 受託事業 (収益目的事業2)

○ 山梨ことぶき勸学院業務受託事業

学院本校の利用に係る基本的な条件及び管理運営の基本条項・仕様書に沿って、適正に勸学院本校を管理運営するとともに、高齢者に対し継続的かつ自主的な学習の場を提供することによって、高齢者の新たな生きがいがいづくりと仲間づくりを行い、健康で活力に満ちた、地域づくりに貢献できる人材を養成するために、様々な講座を実施した。

・勸学院生	1 学年：160 人	(前年度 159 人)
	2 学年：135 人	(前年度 152 人)

① 必修講座 (25 講座 75 単位)

(ア) 地域を創る

地域をテーマに学習し、地域の施設を訪問し、若者との交流や地域貢献活動などを実践した。

- ・ 1 学年：仲間づくり、若者との交流、地域での交流、地域を知る、地域の介護、福祉、地域貢献、地域学習、活動討論、活動実践全体発表
- ・ 2 学年：高齢者の役割、若者との交流、地域での交流、地域を知る、地域の災害と防災、地域貢献・地域学習・活動討論・活動実践全体発表

(イ) 知識を深める

日本や山梨の文化・歴史・経済・芸術・科学、様々な社会問題についての講座を開催した。

- ・ 1 学年：高齢者の食生活と運動、心身の健康管理、山梨の歴史、郷土の歴史暮らしの経済、消費生活の基礎知識
- ・ 2 学年：山梨の自然、環境問題、日本の古典、山梨の文学風土、世界の動き、日本の動き

(ウ) 感性を高める

美術館、文学館、博物館、科学館、富士山科学研究所など県立施設を訪問し、学芸員の説明を受けるとともに、本物の芸術などに直接接触した。また、古典芸能鑑賞として今回は、能楽師の佐久間二郎氏による能楽の歴史や所作、能面、鼓などについて学び、実際にステージで舞や鼓の体験を行った。(令和元年 11 月 13 日：県立文学館)

(エ) 時代をとらえる

今日的なテーマについて大学教授による講座を開催した。

- ・ 講座： 山梨英和大学教授：井上征剛氏 「クラシック音楽の楽しみ方」(令和元年 8 月 30 日) ほか 3 回

入学式において県内外の有識者による記念講演会を開催した。

- ・ 講座： 山梨大学名誉教授：池田清彦 「いきいきと楽しく生きる」

(オ) ふれあい行事 (全体行事)

全ての勸学院生が一堂に会し、入学式・勸学院祭、異世代交流を実施した。

- ・ 入学式 平成 31 年 4 月 16 日
- ・ 勸学院祭 令和元年 10 月 18 日
歌、踊り、展示等、各教室単位で日頃の練習成果を発表した。
- ・ 卒業式 令和 2 年 3 月 11 日 (新型コロナウイルス感染拡大防止により中止)

② 選択講座 (20 単位以上)

勸学院生がそれぞれの生涯学習に対する興味・関心を一層高め、ことぶき勸学院での学びや活動を実践につなげるために、学生自らが選択して、市町村や教育機関が実施する公開講座や講演会、生涯学習推進センターが事務局を務めるキャンパスネットやまなしの講座、民間団体などが提供する講座を受講し、単位認定を受けた。

③ 学級活動・クラブ活動

教室ごとに「朝の会」「帰りの会」の開催、学級役員や班編制の決定、クラブ活動など、勸学院生による自主運営により学院生活や諸行事を実施した。

○ 「森の教室」等普及啓発ゾーン業務受託事業

年間を通じ、自然観察会や木工教室など各種イベントを開催して、自然の大切さなどを学び豊かな心を育む機会を提供するとともに、森林総合研究所の事業と連携して、森林環境教育を実施した。

- ・施設利用者数は 15,878 人 (前年度 17,279 人)
- ・工作室利用者数は 1,267 人 (前年度 1,466 人)

① 普及啓発事業に関する業務

特別展示、年間を通して木工教室・やさしい森の科学講座などの「森の教室」、「森の教室」出前講座を開催した。

(ア) 教室・体験などの主催事業

- ・実施時期：平成 31 年 4 月 20 日～令和 2 年 2 月 8 日
- ・講座数：「野山を歩いて春を描こう」など 25 講座
- ・参加者数：1,452 人

(イ) 森林環境教育講座

- ・実施時期：令和元年 7 月 6 日～令和 2 年 1 月 25 日
- ・講座数：「ヒノキの皮でカゴを作ろう」など 4 講座
- ・参加者数：118 人

(ウ) 展示室などの写真展・特別展

- ・実施時期：平成 31 年 4 月 6 日～令和 2 年 2 月 27 日
- ・展示回数：写真展「野生鳥獣写真展」など 8 回
- ・入場者数：16,726 人

(エ) 「森の教室」移動巡回展示

○ 「山梨県緑化ポスターコンクール入選作品展」

- ・実施時期：令和元年 6 月 15 日～8 月 25 日
- ・展示場所：双葉ふれあい文化館、ぴゅあ総合、ぴゅあ峡南
- ・入場者数：2,050 人

○「森の教室 工作作品展示」

- ・展示時期：令和元年8月17日～12月16日
- ・展示場所：双葉ふれあい文化館、びゅあ総合、びゅあ峡南
- ・入場者数：1,708人

○「山梨県森林総合研究所『最近の研究』」

- ・展示時期：令和元年11月15日～令和2年2月29日
- ・展示場所：双葉ふれあい文化館、びゅあ峡南、びゅあ総合
- ・入場者数：3,901人

② 利用者サービスの向上を図る業務

「森の教室」における効果的かつ効率的な管理及びサービス向上の観点から、日常的な個人利用者、年間行事参加者や出前講座利用者を対象にアンケート調査を実施した。

○ 山梨近代人物館業務受託事業

県政の歴史や本県発展の礎を築いた先人達の功績を展示する施設として整備された山梨近代人物館の運営や教育普及事業等を通じて、分かりやすく県内外の多くの人に山梨県の魅力を発信した。

- ・入館者数は16,465人（前年度17,279人）
- ・講座受講者数は2,670人（前年度3,138人）

① 利用者対応

入館者に対し、施設案内、展示内容の説明、機器操作などの指導、必要に応じ、レファレンスを行った。

② 展示物の管理

入館者に対し施設、設備機器などの適正な利用を促し、展示物などの破損を防止するため、常時監視を行った。

- ・第9回展示「近代甲府を彩った人々―県都甲府五百年―」（4月1日～9月27日）
- ・第10回展示「近代文学に足跡を残した人々―県立文学館開館30周年―」（10月1日～3月28日）

③ 教育普及事業

明治時代から戦前に活躍した山梨県にゆかりのある人物を取り上げた「人物学講座」を開催した。

- ・講座：第1回「若尾逸平と甲府とのかかわり」、第2回「山梨ワイン誕生考」ほか
全講座11回
- ・参加者数：377人

④ 広報事業

展示や人物学講座については、ホームページやFacebookによる広報、また、県内各施設へのポスターチラシの配布や甲府駅へのポスター掲示、報道機関への働きかけ、さらに県民の日記念行事などのイベント会場にブースを設けるなどして周知を図った。

また、人物館をPRする幟旗を県庁内に8本設置しPRを行っている。

(5) 施設貸与事業（収益目的事業1）

施設の有効利用及び利用者サービスに係る事業

甲斐市双葉ふれあい文化館、山梨県立男女共同参画推進センターの公益目的外の施設利用とチケット委託販売・自動販売機の設置・看板印刷など、利用者サービスにかかる事業を実施し、広く県民の利便に応えた。